円覚寺派

齊藤宗務総長が辞任
後任に青木氏選ぶ

青木　宜孝氏

臨済宗円覚寺派の齊藤宗徹宗務総長（71）が一身上の都合を理由に、このほど辞任した。それに伴う宗務総長選挙が11月28日に神奈川県鎌倉市の宗務所で開票され、単独候補の青木宣孝・正法院（静岡県西伊豆町）住職（69）を信任した。任期は12月1日付から4年間。

齊藤氏は12年に宗務総長に就任し、2期目だった。境内整備事業に尽力。今年9月に開かれた第102次定期宗会では、総門前の名勝及び史跡に指定されている臼鷲池の水路護岸の進捗状況や、総門の脇にある東司の改修計画などを報告していた。

宗門は18、19年の釋宗演老師100年遠諱、大用国師200年遠諱を控えており、青木総長は「遠諱を無事円成させることが一番重要な役目だ。中興開山である大用国師、アメリカに禅を広めた釋宗演老師をはじめ歴代管長が法を継いでいかれる中で、そのお助けが少しでもできれば」と話した。

青木総長は1948年生まれ。72年に早稲田大文学部を卒業後、南禅僧堂に掛搭。82年、正法院住職に就任。96年から宗会議員を務め、2016年には宗会議長に就任した。

（甲田貴之）

原告の主張を全面否認
第1回口頭弁論　本庁は争う姿勢見せる

神社本庁元職員らの地位確認等訴訟

神社本庁から懲戒処分を受けた元職員ら2人が地位確認等を求めた民事訴訟の第1回口頭弁論が11月30日、東京地方裁判所で開かれた。被告の神社本庁は原告の主張を否認し、全面的に争う姿勢を見せた。

2015年に売却された白合丘職舎（川崎市麻生区）について、売却先選定や取引額などの決定経緯に疑問を持った原告の稲貫夫・元参事が告発文書「檄」を作成し、それが神社界に流出した。

稲氏は「神社界の正常化を願って行った行為」と主張しているが、本庁は神社界を混乱させたとして、稲氏を懲戒解雇、売却に疑義を呈した元参事の瀬尾芳也氏を減給・降格の処分とした。

処分を受けた両氏は、懲戒権の濫用だとして提訴。被告の神社本庁は地裁に提出した答弁書で原告らの請求棄却を求めている。懲戒処分は不正隠蔽や報復的措置ではなく、原告らの行為は個人の独断的な判断と行為であり、組織秩序を乱す「宗教団体の幹部職員としてあるまじき振る舞い」と主張している。

原告の代理人弁護士は「職舎の売却経緯などに主張の食い違いが見られ、原告が書いた『檄』と題された文書の評価も異なる。文書の言葉は激しいが内容は本庁の正常化のための問題提起だ。判例では内部通報・告発による懲戒処分が許されるかは、組織全体のため、私利私欲による権力闘争のためかが判断基準となるので、今後争点となるだろう」と話した。

次回の口頭弁論は1月18日に開かれる。

（佐藤慎太郎）

新春の縁起物「福かさね」を作る神楽女たち

新しい年へ思い込め
「福かさね」作り始まる

伏見稲荷大社

伏見稲荷大社（京都市伏見区）の迎春準備が1日に始まり、新春の縁起物「福かさね」を作る作業が社務所で行われた。

「福かさね」は、守矢に来年のえとの戌を描いた絵馬や同社の神木であるスギの枝を用いた「しるしの杉」、稲穂、お多福の面などを組み合わせたもの。初詣の参拝者に初穂料2500円で授与する。

絵馬の原画は昨年同様、日本画家の上村淳之氏と由里本出氏が描いた。図案は4種類。

1日は、社務所で6人の神楽女が守矢に様々な縁起物を手際良く束ねていった。田原美織さん（19）は「参拝者はもちろん、作り手も含めた皆さんにとって来年が充実した一年になってほしいとの思いを込めて作っています」と話した。

新学長に浅尾教授

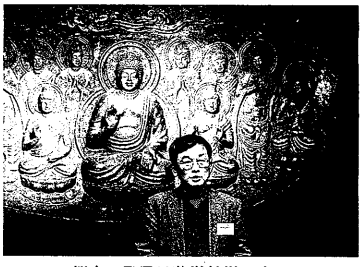
大阪大谷大

浅尾　広良学長

大阪大谷大（大阪府富田林市）を設置する大谷学園（大阪市阿倍野区）は尾山眞之助学長の死去に伴う理事会を11月29日に開き、後任学長に学長代行の浅尾広良教授（58）を選出した。任期は1日から2年間。

浅尾氏は山形大人文学部卒、國學院大大学院文学研究科博士課程後期満期退学。専門は日本文学（中古）。羽陽学園短期大助教授を経て大阪大谷大教授。文学部長、学長補佐を歴任した。（池田圭）

東大寺で〝大仏シンポ〟
新羅仏教の思想など語る


禅宗の発展は華厳教学に支えられたと述べる崔氏

大仏開眼1250年を記念して始まった第16回ザ・グレイトブッダ・シンポジウム「新羅仏教の思想と文化」が11月25、26日に奈良市の東大寺で開かれ、韓国・東国大学校の崔鈆植教授が新羅華厳宗の動向について講演した。

新羅仏教研究は史料が少なく遅れていると解説。初期には華厳宗を学んだ元暁法師（617～686）や義湘法師（625～702）が知られるが、当時は唯識中心の総合仏教が盛んだったと指摘した。王室貴族の尊崇を得た義湘だが、隠遁を選んだため当時は大きな影響を持たなかったとした。

華厳の興隆は景徳王代（742～765）に義湘門下の表訓が都で活躍してからとする。これは新羅最古の寺・興輪寺にあった祖師像10体のうち、義湘だけが生存時期より遅れて祀られたことから裏付けられると分析。

また雨乞いの祈祷に法相系の僧が『金光明経』を使ったのに対し、華厳僧が『華厳経』を使うようになった変化は、当初は金光明寺と称していた東大寺が後に華厳宗の寺になったことに対応するのではと推測した。

華厳より禅宗が優勢になる9世紀末の変化については、衒学化した華厳への批判が要因との従来説を疑問視。むしろ華厳教学の深化が禅宗の急速な発展をもたらしたとし、両者の共通点に注目する近年の見解を支持した。

また石井公成・駒澤大教授が「新羅仏教文化の多様性」と題して講演した。2日目は研究報告や総合討論が行われた。

（武田智彦）

中山玄晋氏（天台宗総本山比叡山延暦寺元副執行、延暦寺一山明王院住職）11月30日死去。81歳。葬儀は3日、延暦寺一山葬として大津市の生源寺で営まれた。葬儀委員長は水尾寂芳・延暦寺副執行、喪主は遺弟の中山玄童氏。

1936年、大津市生まれ。叡山学院研究科を卒業後、明徳院住職に就任。94年に明王院住職。91年から延暦寺副執行法務部長を4期務めた。

木邊輝子さん（真宗木辺派裏方）11月29日死去。77歳。長男の顕暦新門を喪主に、2日に親族による密葬を滋賀県野洲市木部826の本山錦織寺で営んだ。本葬（宗門葬）は来年2月4日午後1時半から同寺で。

円慈門主の裏方として坊守会や仏教婦人会の総裁を務め、宗門関係者の教導に尽力した。

念珠打敷
あらゆる念珠　京念珠
山本亀太郎商店
〒600-8399
京都市下京区堀川通正面角
TEL075(371)1336 FAX075(341)2857(定休日・火曜日)

紙本着色「釈迦涅槃画像」
絵画・掛軸制作
御本山 御用達
絵画・墨跡・織物
修理・一般表具一式
宗紋襖紙・御殿引手発売元
京表具
浩悦庵
古文化財保存修理研究所
（有）矢口浩悦庵
本社 工房／
京都市上京区衣棚通丸太町上る今薬屋町318
TEL(075)254-6021(代) FAX(075)254-6022
東京営業所／TEL-FAX(042)442-0177
URL http://www.koetsuan.com
E-mail office@koetsuan.com

— 寺社の貸地をお借りします —
寺社の土地のアドバイザー
BLUE BOX
本社　愛知県稲沢市正明寺2-16-4
京都営業所　京都市左京区二条通川端東入ル 難波町216　株式会社辻岩1階
東京・名古屋・京都・大阪　相談無料　(075) 275-0020